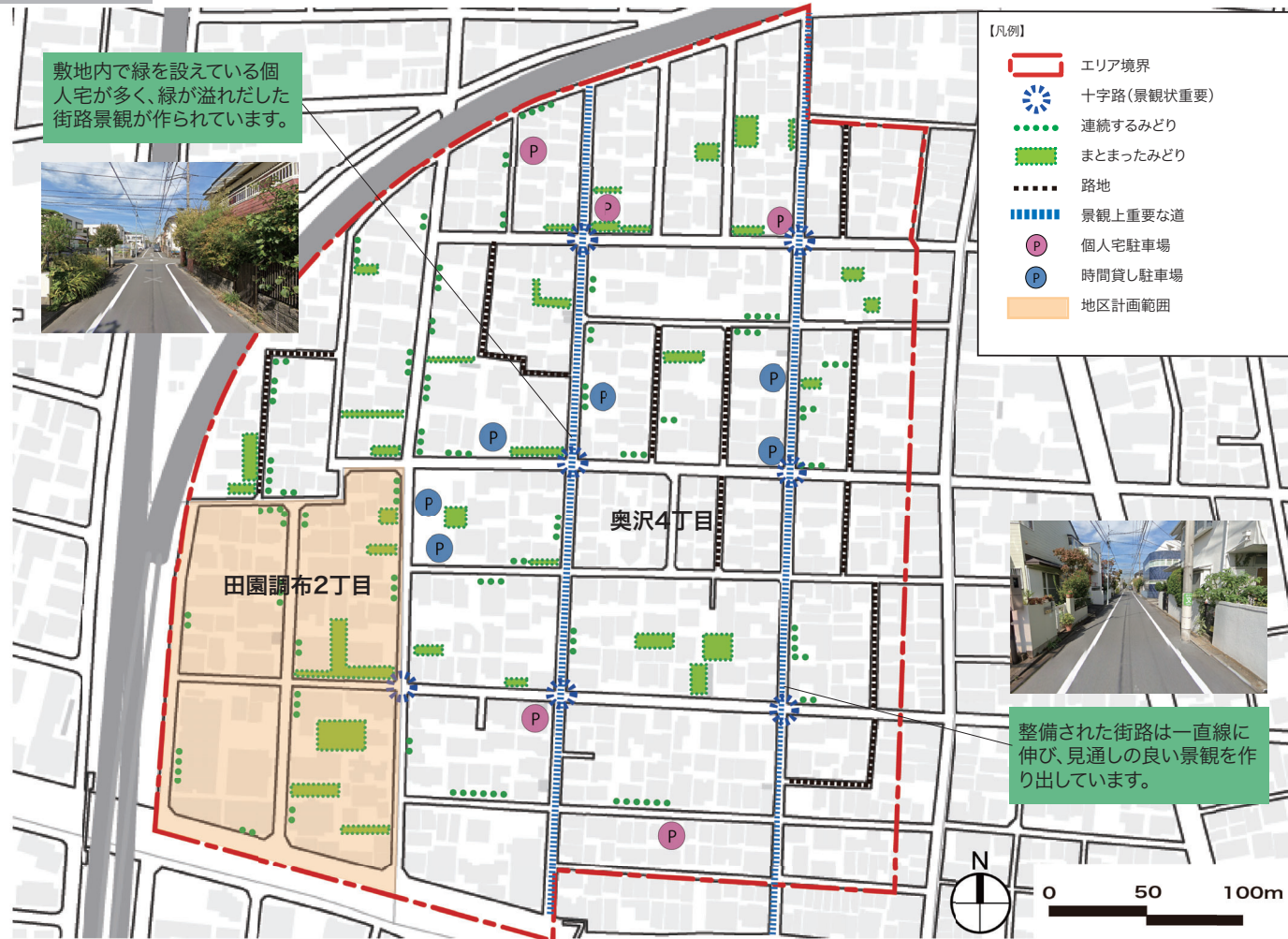


# 4-6 田園調布住宅街エリア

第一種低層住居専用地域と準住居地域で構成されている住宅街エリアです。坂道や高低差はほとんどなく、平坦な土地になっています。区画整理された直線的な街路構成や、住宅内の緑や街路に溢れだした緑によって、エリア内の連続的に緑化された景観が特徴的です。また、エリアの一部は玉川田園調布1.2丁目地区計画の範囲内であり、緑豊かな住環境の住宅市街地の形成を図るために建築物の敷地面積の最低限度や壁面の位置の制限、柵の構造の制限、敷地内の空地での緑化がされています。

## 景観特性



### 1.区画整理された住宅街



戸建住宅と低層集合住宅等の調和した緑豊かな住宅市街地です。玉川田園調布付近は地区計画による敷地に対するセットバックや隣地境界などの建築制限により、開けたゆりのある景観となっています。またその他の地域は、地区計画により直線の街路が整備されており、直線美が特徴的なエリアです。

### 2.道路に面した住宅内の緑



エリア内の多くの住宅は道路前面部に庭を所有しており、また住宅の敷地内に様々な樹木や植栽が点在しています。これらの緑は道路にもあふれ出しているため、エリア全体としての緑化が進み落ち着いた住宅街の雰囲気と連続的な緑の景観が特徴的です。

### 3.住宅街に点在する駐車場



個人宅の空きスペースを有効活用して、貸し出しをしている駐車場と、時間貸し駐車場があります。エリア内の特に中央帯では、時間貸し駐車場が多くみられます。これらによって、住宅が密集した地域内に視界が開けるような景観が広がっています。

## 景観形成の目標

### 直線的な街路空間と、みどり豊かな景観を活かした住宅地の形成

本エリアは、区画整理による直線的な街路と住宅の敷地内で整備され、街路に溢れだした緑によって作られる景観が特徴的である。本ガイドラインではこれらの特徴を保全、推進することでさらに魅力的な住宅地景観を形成することを目的とする。

## 景観形成の方針

### 1.直線的な道路を活かした景観づくり

#### 景観形成の考え方

直線的な道路と緑が多い地域であるため、それを活かした景観をつくる。

#### 具体的な方策

- アイストップを整備することによって、視線が集まり、直線的美しさが強調させる
- 電柱を地中化することで、直線的な道路を際立たせる
- 沿道に生け垣などを設置することで沿道の水平方向を強調する



電柱の地中化とアイストップにより直線を強調

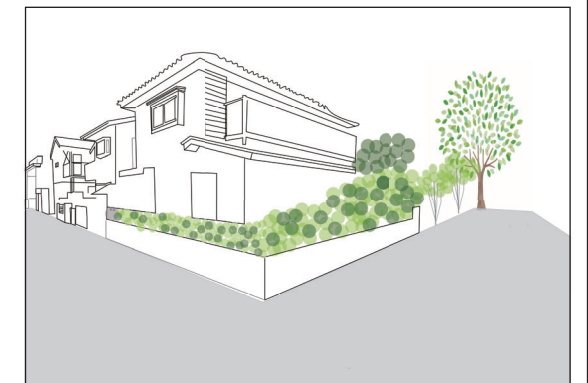
### 2.エリア全体の緑化を推進

#### 景観形成の考え方

住宅敷地内の緑を保全・管理をし、本地域全体の緑化の推進を進めることで、エリア全体の落ち着いた景観を維持する。

#### 具体的な方策

- エリア内にアイストップとなる樹木や植栽を整える
- 住宅内に積極的植栽を取り入れることで、エリア全体の緑化を図る
- 住宅の敷地外の道路に溢れ出している緑に規定を設けることで、歩行者が歩きやすい景観を作る



道路内で存在するアイストップ

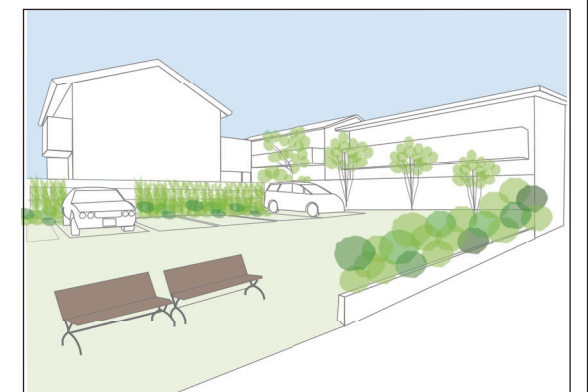
### 3.密集住宅街の余白の維持と魅力度の向上

#### 景観形成の考え方

主に駐車場によって生まれる視界の開ける余白的空間を維持し、更に景観としての魅力の向上を図る

#### 具体的な方策

- 駐車場にベンチや敷地境界部分の植栽、シンボルとなる樹木等を設けることで、地域の資源としての魅力と豊かな景観を創出する
- 現在ある駐車場を維持することで空間的な余白を存続させる



駐車場内のくつろぎ空間と緑の創造